特集／小田川 浩 つくばみらい市長 2期就任インタビュー　広告　企画・制作　建設未来通信社広告部

市民の声を大切に変化続ける未来へ

～みらい平地区中心に人口増、周辺活性化～

◆プロフィール◆

小田川 浩（おだがわ・ひろし） 昭和42年1月23日生まれの55歳。つくばみらい市出身。明治大学公共政策大学院修了。趣味はゴルフで「同じ一打を二度と打たない、やり直しがきかないところが面白い。毎回数字が出て、データで結果が表れるところも好き」とのこと。

みらい平駅周辺地域

中学校の新設検討

小田川浩つくばみらい市長の市政2期目がスタートを切った。1期目で福岡工業団地の開発やスマートインターチェンジの誘致に成功するなど目に見える成果を着実にあげてきた。2期目の4年間ではみらい平への中学校建設事業やワープステーション江戸の周辺開発、都市計画道路の整備などを推進する。つくばみらい市の未来のため、さらなる活躍が期待される小田川市長に今後の市政展望などを聞いた。

■2期目の抱負

福岡工業団地の開発や（仮）つくばみらいスマートインターチェンジの整備を1期目に引き続き進めていく。ワープステーション江戸の周辺開発は、1期目で基礎的な調査が完了した。これから方向を示していかなければならない。

そして今、私が重点項目として挙げているのは子育てと教育。ここにしっかり予算をかけて、子育て世代を応援するという点を全面的に打ち出していきたいと考えている。

■教育環境の充実について

ハード面ではまず、みらい平への中学校の新設だ。現在、みらい平には小学校が2校あるが、どちらも1000人規模の大規模校となっている。中学校は伊奈中学校と谷原中学校の2校があるが、どうしても距離が遠くなる生徒がおり、通学中の安全対策には限界がある。

みらい平に新たな中学校が建設されれば、保育施設、幼児教育施設、小・中学校とトータルで子育てを完了できる環境が整う。これまでは、TX沿線の他のエリアに比べて中学校がないというのはデメリットだったが、これで他のエリアと肩を並べることができるのではないかと考えている。

今後は、7月に指名型プロポーザルを公告して設計者を決める。2年で設計をまとめ、その後は1年で造成、2年で本体工事くらいのスケジュールで考えている。

一方、TX沿線以外の集落ではこれから統合を控えているところもあり、老朽化対応の大規模改修工事も進めていく。本年度は小絹小学校の大規模改修工事を行う。

そのほか、全教室への電子黒板の導入や体育館へのWi-Fiの接続なども進める。

そしてソフト面では教師の働き方改革を進めていく。先生たちには余裕を持って子供どもたちに接してもらいたい。

インフラ整備

内需拡大に貢献

■福岡工業団地について

1期目の「ネクストコアつくばみらい（32ha）」は官民連携で整備を行い、すでに事業用地は完売した。現在は72haの整備を県の施行で行っている。

これから造成も始まり、地元の建設会社の皆さまにも仕事が入ってくると思う。市と県とで一体となって事業の進捗を見守っていきたいと考えている。市としても用地買収などに協力させていただくが意見も言わせてもらうつもり。

やはり市民に喜んでいただく必要があるので、立地企業が市民のために何をしてくれるのかという点には注目したい。できることなら、つくばみらい市に貢献したいという意思のある企業に来てほしい。

■スマートインターチェンジの整備について

19年9月に新規事業化が決定し、常磐自動車道の谷田部ICから7・5㎞、谷和原ICから3・7㎞の位置に整備予定。開通により現在整備中の福岡工業団地2期地区や既存の福岡地区工業専用地域から高速道路へのアクセスが向上し、企業誘致の促進や物流の効率化が期待できる。

現在はNEXCO東日本と県、市で協力しながら事業を進めている。市では、用地買収を行っているところ。24年3月の開通を目指している。

開通後は、周辺開発をスピード感を持って進めていかなければいけない。現在、担当課が事業者の話を聞き、地元の方達と勉強会を行っている。これからどういった施設を整備し、どのように周辺開発を行うのか考えていきたい。

■ワープステーション江戸の周辺開発

ワープステーション江戸は、広大な敷地に時代劇用のセットが建ち並ぶ商用撮影施設。開発の方向性はこれから決めるが、映像関連も含めた開発になってくるのではないかと考えている。集客できるような施設が生まれて賑わいを発生させることができれば望ましいと考えている。

映像については、関連の企業も過渡期であると思う。映画館からネット配信が主流になるなど時代が移り変わり、これから映像をつくっていくためには何が必要なのかということを調査した。今は時代の先端を走っているクリエイターの方々の話を聞いているところ。

進化の早い産業なので、今「これをつくろう」と決めても出来上がったときには時代遅れになるというおそれもある。10年後にも求められる色あせないものを現場の方と一緒につくってまいりたい。

■インフラ整備について

まず第一に都市計画道路東楢戸台線の整備を進めていく。工業団地の整備が進めば、都市計画道路の役割はさらに増してくると思っている。立地企業が増えれば、当然道路の利用頻度も増える。

現在、354号との交差点付近の地盤改良を行っており、めどが立って来たところ。24年ぐらいにつくばからの開通が見込めるのかなと期待をしている。

都市計画道路中原線も、工業団地内の造成に合わせて一体の整備を行っている。

スマートインターチェンジが供用を開始すれば、車の流れは大きく変わることが予想される。インターチェンジと接続する県道の整備も必要になってくるだろう。

■これからの入札制度や表彰制度の復活など

つくばみらい市では現在、紙入札で入札を行っている。しかし、土日の郵便配達が休みになっているため、月曜日、火曜日必着で入札書を締め切ると金曜日の発送で間に合わないことがある。やはり、DXを推進しているわけだから、電子入札の導入は検討しないといけないだろう。

まず先に、電子契約の方を進めていこうと考えている。その後で電子入札の導入を推進していこうというのが現在の方針。なるべく前倒しで導入を進めていきたい。電子契約はことし1年かけて事業者の方と勉強会など行いたい。

表彰制度は以前行っていたが、近年は開催していない。事業者から励みになると聞いているので、再開を前向きに考えている。一昨年ぐらいから、担当課が基準づくりをしているところ。しっかりした基準ができれば、表彰の再開は可能だと考えている。

■建設業者へのメッセージ

何かと批判されることが多いが、公共事業は地域の発展に不可欠であると考えている。道路が整備されれば市民の生活が便利になる。内需拡大にも大いに貢献する。公共事業なくして地域の発展はありえない。そして、公共事業には優れた技術をもつ建設業の皆さまの存在が欠かせない。

目に見えないところで、市民は建設業者の皆さまに大変お世話になっている。非常に優秀な技術を持つ事業者が多く、頼りにさせていただいている。また、団体としても非常にまとまっており、自然災害などいざという時に迅速に動いていただけることをとても頼もしく感じている。信頼関係が出来上がっていると感じているし、本当に感謝している。

仕事も安心して地元の企業に発注できるし、期待にしっかり応えていただいている。市民のため、一緒に働いていける同志という存在だと思っている。これからもお力を貸していただきたい。

社会資本整備を通して、つくばみらい市の更なる発展に尽力します

茨城県建設業協会 土浦支部　つくば分会

つくば分会はつくばみらい市と災害協定を締結しています。

つくばみらい地区

㈱赤塚土木興業
伊奈工業㈱
いなほ工業㈱
オービー建設㈱
常総土木工業㈱
㈱新みらい
塚本建設工業㈱
常磐興業㈱
㈱直井造園土木
成建工業㈱
成島建設㈱
浜野商事㈱
原信田建設㈱
ヒタチ緑化㈱
㈱山田組
谷原建設㈱
㈱マヤ建設
㈲飯塚工務店
大藤建設㈱

大穂地区

久保谷商事㈱
㈱道路整備
㈱中城
㈱秀商
㈱路川工務店
㈱満重機土木
吉沼造園土木㈱
勝工業㈱
植村建設㈱

谷田部地区

浅野物産㈱
㈱大和田建設
㈱貝沢造園土木
㈱近藤工務店
㈱三共建設
㈲節和建設
㈱高田工務店
高野土木㈱
㈱冨田興業
㈱冨田工務店
㈱トヨシマ総合建設
㈱冨晃
星田建設工業㈱
筑南総合建設協同組合

筑波地区

池田技建工業㈱
㈱イチムラ
スズキ造園土木㈱
東亜工業㈱
㈱ノジリ土建
㈱日の丸商事
北条工業㈱
㈱谷口工務店
㈱山関工務店

豊里地区

㈱市川造園建設
㈲稲葉工業
大山建工㈱
公洋建設㈱
㈱対崎工業
㈱村上工務店
㈲渡辺土木

桜地区

飯岡建設㈱
㈱大津建設
五頭産業㈱
㈱つくば開発
ツクバメンテナンス㈱
㈱常盤工務店
㈱根本興業
橋本造園土木㈱
パルつくば㈱
㈱ムラノ
㈲山吉

茎崎地区

㈱市原工業
㈱成財基業
㈱田村企画
㈱中泉建設
㈲長谷川工務店
緑化植産㈱